

2020年10月1日

第135号

発行：日本臨床検査技師連盟
発行責任者：榎山 広美
編集担当者：日技連事務局

日本臨床検査技師連盟ニュース

◆◆連盟ニュース◆◆

今号の主な内容

- ◇ 第69回医学検査学会「情勢報告会」並びに「宮島喜文に聞く」

第69回日本医学検査学会「情勢報告会」並びに「宮島喜文議員に聞く」

去る9月5日（日）第69回日本医学検査学会で宮島喜文参議院議員の「情勢報告会」を2部構成で行った。毎年、全国学会および支部学会時において開催しているが、今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、全ての支部学会の開催を中止したことから、情勢報告会をはじめ連盟活動もなかなかできない状況である。このような時ではあるが、会場には学会参加の会員が熱心に聴講した。第1部は宮島喜文議員から「国会議員として5年目をむかえて」と題して講演いただき、第2部は、榎山広美日技連代表から宮島議員に対して「これからの医療情勢と女性の活躍」と題して、質問形式で進められた。

第1部は、国会議員としての4年間の活動をスライド形式で講演いただき、「財務大臣政務官としての活動、わが国の財政とポストコロナ時代、国会・議員の役割について」をポイントに講演をいただきました。（以下講演内容の抜粋）

初めに、第201国会での予算審議、可決された法案の概要並びに新型コロナウイルス感染症対策として、第1次、第2次の補正予算の編成、関連法案についての説明がなされた。

「ポストコロナ時代における新しい未来『新たな日常』」の社会保障の構築を進める。中でも、医療では、感染対策を行う医療体制等の強化を目標としており予算編成に向けて協議したことを説明した。

また、今後の予算編成において、新型コロナウイルス感染症対策関係としては、特に感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発、「国民の生命・生活・雇用・事業を守り抜く」ことを令和3年度の予算編成に向けた体制

強化を強調された。

生活、経済では「新たな日常」が実現される地方創生への対応、東京一極集中型から高く連携型の国造り、働き方・暮らし方（少子化対策・女性活躍等）が求められ、早期の実現を主張された。

第2部は、「これからの医療政策と女性の活躍」とい

議会制(国会は政党が戦う場所である)

- 我が国は「議会制民主主義」である。民意を反映する
- 国会は国権の「最高機関」、議会は「政党政治」が前提で成立。
- 国会議員は基本的に「政党」に所属し、活動する。
- 国会は内閣をチェックする機能が大切である。

政党は「部分の代表」
国会議員は「全体の代表者」
であるが、「部分の代表の声」となるべき

「日臨技の声」を「政党政治」を通じて、「政策実現」を図る。



うテーマで、榎山日技連代表から宮島議員へ質問形式で進化した。主な質問は下記のとおりで、宮島議員とのトークは連盟会員サイトをご覧ください。

- ① 宮島議員の国会議員イメージは就任前のと議員を経験されてからのイメージがどのように変わっていったか。
- ② 議員は報告会や打合せの中で、国会議員以外に地方においても臨床検査技師が議員になっていく必要があるのではないかというお話をよくされますが、今後臨床検査技師が、政治家になっていく上で、どんな活動をしていったらよいか。

③この学会で新型コロナに関して取り上げられていますが、昨日の新型コロナの特別企画においても、宮島議員と賀来先生との鼎談（ていだん）の中では、賀来先生が国の専門委員会の中でワーキングを作り、検査や治療それぞれ検討する場が必要（ALL JAPAN）であると発言されています。宮島議員は、次に出てくるだろう感染症について医療関係者の教育も含めて日臨技が要望を出しましたが、今後の国の政策についてお聞かせください。

④会員からは、地方ではなかなか高額な検査機器の導入が難しく、検査室の存続に不安をもっていることを聞きます。タスクシェアリングを含め小規模病院にとって、どのようにしていったらよいかお聞かせください。

次に女性に活躍について

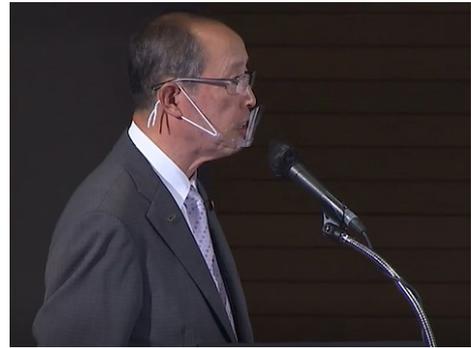
⑤世界経済フォーラムが2019年12月男女格差を測る



「ジェンダー・ギャップ指数2020」を公表し、経済・政治・教育・健康の4分野で日本は153の国の中で121位、いつもながら大変残念な結果です。特に政治は144位です。女性の活躍が進むことは、女性だけでなく男女が共に暮らしやすい社会の実現につながるものですが、私も日臨技の役員時に女性部会で技師会活動への取り組みが必要ということを提言できただけでした。社会のあらゆる分野において、2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度となるよう目標が立てられました。しかし、残念ながら2030年までの達成に先延ばしになりました。国の政策の中で女性議員を増やす取り組みはありますか。

会場からは、日臨技において女性の働き方を考える委員会を発足できないかというご意見をいただきました。

最後に宮島議員から、このコロナ禍において臨床



検査技師、PCR検査が連呼され、広く知られるようになった。このような国難を乗り越えるときに臨床検査技師は日常の業務、患者さんのためはもちろんのことですが、広く国民の為にも関わって関与していることを、考えてほしいという気持ちを伝えられた。

会員の皆様へお願い

臨床検査技師連盟(代表: 相山副会長)への加盟
 目的: 私達に賛同した議員への支援、要請行動の経費や連盟会議の旅費など
 今年度: 8,000円 年会費一口3,000円
*看護連盟は20万人、会費: 8,000円

自由民主党(紹介者: 宮島よしふみ)への入会
 全国比例区の公認枠の確保...1,000名以上
 年会費 親会員4,000円、家族2,000円
昨年はノルマ(1,000名)達成!! ありがとうございます。

連盟 250円/月、自民党员 333円/月 = 19.2円/日
...臨床検査技師の身分・待遇の確保を自らの手で...

なお、情勢報告会の動画は連盟会員サイトに掲載していますので、ぜひこの機会に様々な情報を共有しましょう。

※視聴にはWeb会員登録が必要です。

(登録サイト)

<https://www.jamt-renmei.org/guidance/registration/>

